シラバス参照

開講年度	2019
講義コード	033029JA
科目ナンバー	[APM]-[SMO]-[300]
開講セメスター	夏セッション1
講義名・クラス名	ファミリービジネスJA
担当教員	横山 研治
備考	注意:夏セッション1は8月1日(木曜日)から8月5日(月曜日)に開講されます。なお、8月3日、4日は土曜日、日曜日ですが、授業は実施されます。また、上記とは異なる期間に授業が実施される場合もありますので、必ずシラバスを全て確認してください。 Note: The period for Summer Session I this academic year is August 1st - August 5th, Thursday - Monday. Lectures will be held on August 3rd and 4th, regardless of whether this day falls on a weekend. Some subject can be held in the different date from above period. Please make sure to confirm the schedule and content in the syllabus. セッション期間の科目は、卒業予定日を含む最終セメスターでは履修できません。 No session courses may be registered during a student's semester of scheduled graduation.

① ビジネス・エシックス	а.		
	а.	ビジネス·エシックスの基礎的な理論や原理を理解する。 	
	b.	ビジネス・エシックスの意義や重要性を示す。	0
	c.	倫理的問題を分析し、解決策を提示する。	0
② 基礎的な専門知識	a.	基礎的なビジネス概念の理解力を示す。	0
	b.	一定水準の文章力やプレゼンテーション力を示す。	
	c.	適切な分析ツール(定性的・定量的)を用いて、ビジネスの問題を検討する。	
	d.	問題解決能力を示す。	0
③ 異文化コミュニケーション能力	a.	コミュニケーションの仕方に文化が影響していることを理解し、それを 表現する。	
	b.	多文化環境において効率的にコミュニケーションをとる。	
	c.	少なくとも1つの第2言語に精通している。	
④ グローバルな視点	a.	グローバル化のインパクトを理解する。	
	b.	ビジネス環境が国によって異なることを、例示して説明する。	
	③ 異文化コミュニケーション能力	こ。 ② 基礎的な専門知識 a. b. c. d. b. c. ④ グローバルな視点 a.	b. 一定水準の文章力やプレゼンテーション力を示す。 c. 適切な分析ツール(定性的・定量的)を用いて、ビジネスの問題を検討する。 d. 問題解決能力を示す。 a. コミュニケーションの仕方に文化が影響していることを理解し、それを表現する。 b. 多文化環境において効率的にコミュニケーションをとる。 c. 少なくとも1つの第2言語に精通している。

	1							
		C.	ビジネス・マネージメント分野における る。	グローバルな出来事を	認識す			
講義分野	ビジネス、マネジメント 当フィールドの設定は、関心のある分野に該当する科目を検索、閲覧するものです。興味のある分野を示しているだけであって、卒業 に必要な単位区分とは関係がありません。単位区分については、ハンドブックを参照の上、履修するようにしてください。							
履修の目安	ファミリービジネスは学際的分野である。新しい知識や理論を得るというより、すでに学んだ学際領域、たとえば組織行動、人的管理、戦略、生産管理、マーケティング、会計、財務管理などを理解していることが前提である。4回生以上の履修が望ましい。また、授業の大半は討論なので積極的に討論に関われない学生は受講すべきではない。							
授業概要	ファミリービジネスは経営と企業所有にある特定の家族や一族が関わっている経営形態を持つものを言う。長年にわたり存続する企業の多くはファミリービジネス企業であることから、長寿企業の代名詞ともなっている。そして、そのような長寿企業であるファミリービジネスの大半が日本に存在しているということから、ファミリービジネスの特異性の研究は日本をフィールドとして行われる。ファミリービジネスは、その一方で、利害関係者が多くまたそれらがより複雑に関わっていることが知られている。つまり、より難しい舵取りや管理が必要となる。成功したファミリービジネスは一方で長年にわたり地域に貢献をして地域に雇用を生み出すことが知られている。この授業では、ファミリービジネスの本質的な問題点を指摘して、その上でそのような問題を克服してきた慣習や制度あるいは知恵を実例から学ぶ。言語は日英を併用する。資料は英語である。							
到達目標	学生はThree Circle Model, PPT Model, 4C Model, Resource-Based View, Social Capital Theory, Dynamic Capability Theory, Agency Theory, Stewardship Theory, Socie-Economic Wealthを理解したうえで、30の実例に基づく討論を行いながらファミリービジネスの本質的な欠点を補う制度、慣習、知恵を理解する。							
授業方法	9つのモデルや理論の説明では講義を中心としながらも多くの質問を行い、インタラクティブな授業を行う。また実例に関する討議では徹底した 討論を行い、他者から学ぶという方法を取り入れる。							
毎回の授業の 概要	1. ファミリービジネスの定義、Two Circle Model vs Three Circle Model 2. PPT Model, 4C Model, Resource-based View, Social Capital theory, 3. Dynamic Capability Theory, Agency Theory, Stewardship Theory, Socio-Economic Wealth, 4. ファミリービジネスのガバナンス問題に関する事例研究と討論1、5. ファミリービジネスのがバナンス問題に関する事例研究と討論1、5. ファミリービジネスの継承問題に関する事例研究と討論1、7. ファミリービジネスの継承問題に関わる事例研究と討議2、8. ファミリービジネスの戦略問題に関する事例研究と討議1、9. ファミリービジネスの戦略問題に関する事例研究と討議2、10. ファミリービジネスの一般的問題に関する事例研究と討議 1、11. ファミリービジネスの一般的問題に関する事例研究と討議、12. 外部講演者の招聘と討論、13. ファミリービジネス経営者の招聘と討論、14. ファミリービジネス経営者の招聘と討論、15。ファミリービジネス経営者の招聘と討論、15。ファミリービジネス経営者の招聘と討論、15。ファミリービジネス経営者の招聘と討論、15。ファミリービジネス経営者の招聘と対論							
予習・復習の 内容と分量	毎回レヴューを提出する。いくつかの資料は事前に配布して事前読者が必要である。							
成績評価方法	出席10%、レビュー40%、授業内討論参加度合いと内容:50%							
多文化協働学 修の実践方法	世界のファミリービジネスを比較検討するので、多くの国際学生に参加してほしい。言語は英語も多用する。また授業資料は英語を使用する。							
学生への要望 事項	開講は日本語であるが、授業資料は多くは英語表記 している。	こでま	5る。理解を確認するために日本語も使	見用することがある、とい	う意味で日	日本語開講と		
テキスト備考	なし							
テキスト (授業 を履修する上 で、購入が必 須となる書物)								
参考文献備考								
参考文献(図書、視聴覚資料)*ライブラ	1. 書名* When Family Businesses are bes	t		ISBN13桁*	978023	0222625		
リーリザーブ								

		著者名*	Carlock and Ward	出版社	Palgrave	出版年	2010	版・シリーズ・巻	
	注釈 E-Book (shown below in the "E-Book & Course-related links" column)								
コーナーに設置		書名*	Family Business Key Iss	Family Business Key Issues				ISBN13桁*	9781403947758
	2.	著者名*	Ward and Denise	出版社	Palgrave	出版年	2004	版・シリーズ・巻	
		注釈							
参考文献 (雑誌、年鑑白書等)									
備考									
担当教員研究 室電話番号									
担当教員E- mailアドレス									
E-Book およ び 関連ペー ジ	1.	When Fam	ily Businesses are best			Further Read	ling		